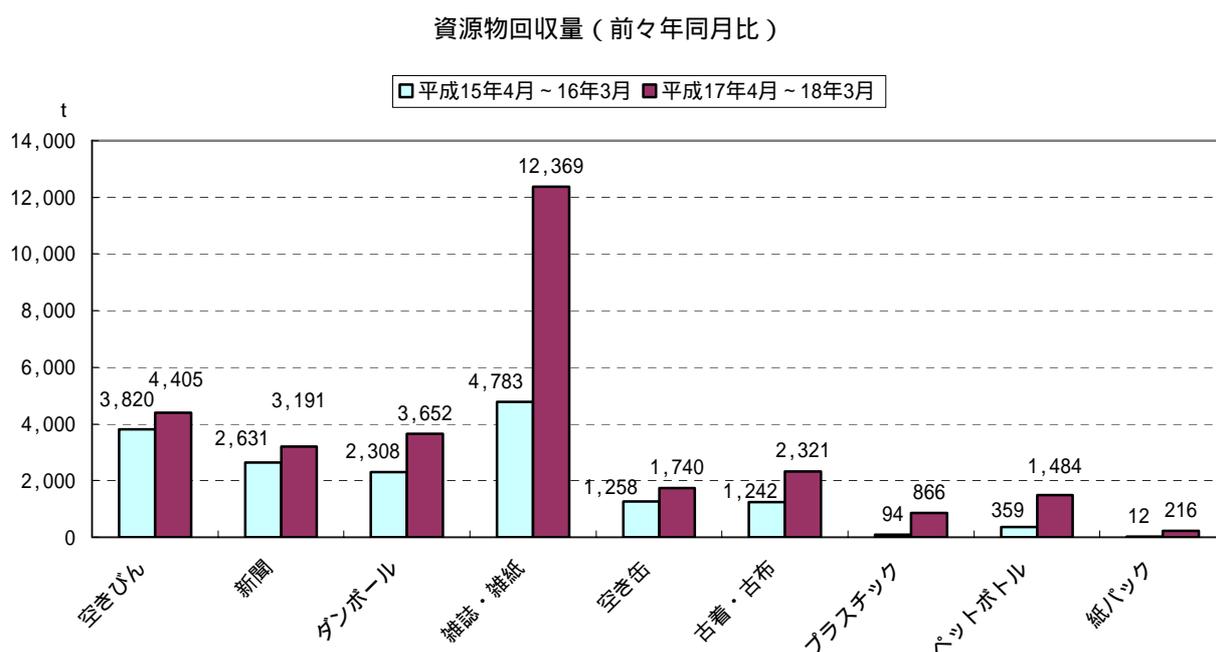
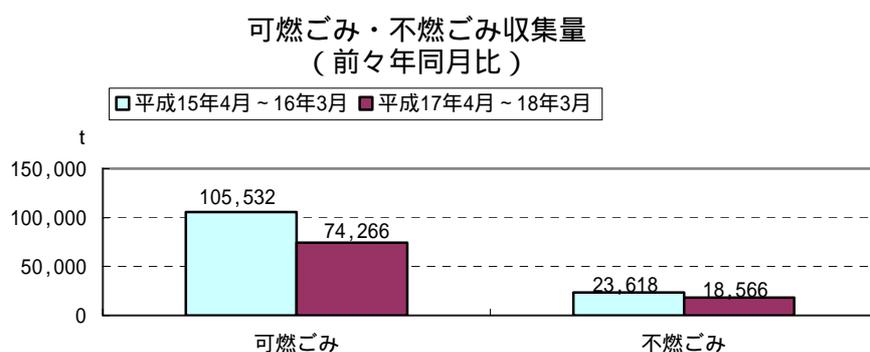


第2章 特集

第1節 ごみ有料化後の状況

1. 有料化の成果

平成16年10月のごみ有料化を契機に市民の意識が高まり、ごみ減量への取り組みが行われたことにより、本市は平成16年10月より50万以上の都市として初めてリデュース、リサイクル率第1位という成果を得ることが出来ました。ごみ有料化導入前の平成15年度と平成17年度を比較すると、可燃ごみは31,266トン、不燃ごみは5,052トン全体で36,318トン、28.1%の減量となり、ごみの減量化に大きな効果をもたらしました。同時に資源物の回収が促進され資源物の回収量は13,739トン、83.2%増加しています。このことにより、石油や樹木など地球上の貴重な資源の節約及び二酸化炭素の減少により温暖化防止など、環境負荷の低減に貢献することができました。



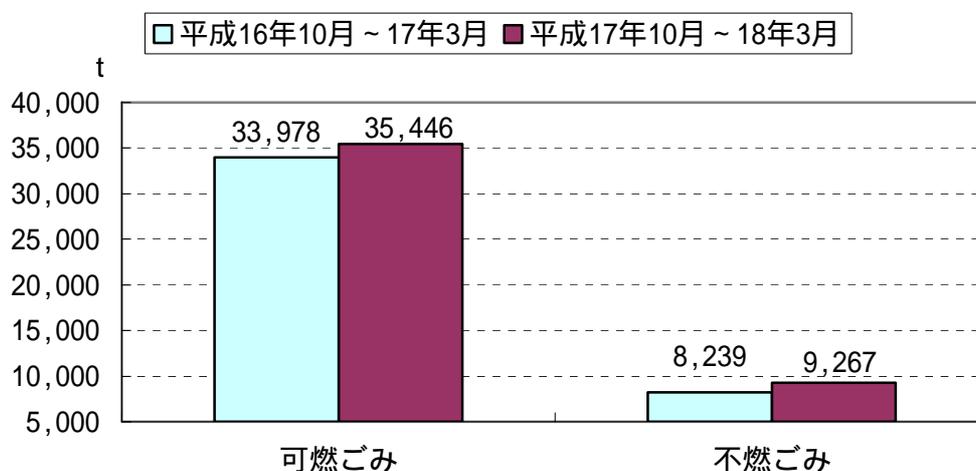
2. ごみ処理量の状況

(1) 家庭系ごみ 有料化当初より増加傾向に

下のグラフは平成17年10月から3月までの6ヶ月間と有料化が始まった直後の平成16年10月から3月までの6ヶ月間の収集量を比較したものです。有料化開始直後より可燃・不燃ごみの収集量が合わせて約2,500トン5.9%も増えています。

有料化の成果を持続し、更なる減量に取り組み、限りあるごみの埋立地を1日でも長く使えるようにすることが大切です。一度破壊された環境を取り戻すのは困難です。そこでもう一度、一人ひとりが有料化当初の意識に立ち返り、ごみ減量に取り組むことで、環境負荷を減らし、次の世代により良い環境を確実に引き継いでいくことが重要です。

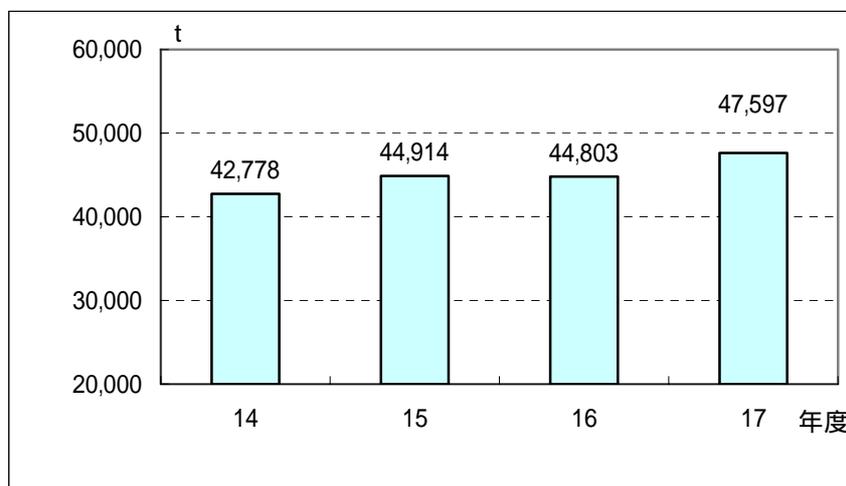
可燃ごみ・不燃ごみ収集量
(前年同月比)



(2) 事業系ごみ

本市では、事業系ごみについては事業者責任で処理することとしてきました。また、有料化・戸別収集の実施にあたり、少量排出事業者を対象に市で収集することとしましたが、事業系の持込みごみが増加している状況にあります。本市としては増えつづける事業系ごみに対し積極的な対策を打ち立てていく必要があります。

持込み可燃ごみ



3 . 市民への啓発活動

ごみ有料化の成果を継続し、更なるごみ減量に結び付けるためには、市民一人ひとりの日ごろからの意識と行動が不可欠となります。そのため、ホームページや「広報特集号」「リサイクルタウン八王子」など情報誌の発行、出前講座、各種イベントなどの啓発活動を通じ、市民の減量意識の定着・発展を図っていきます。

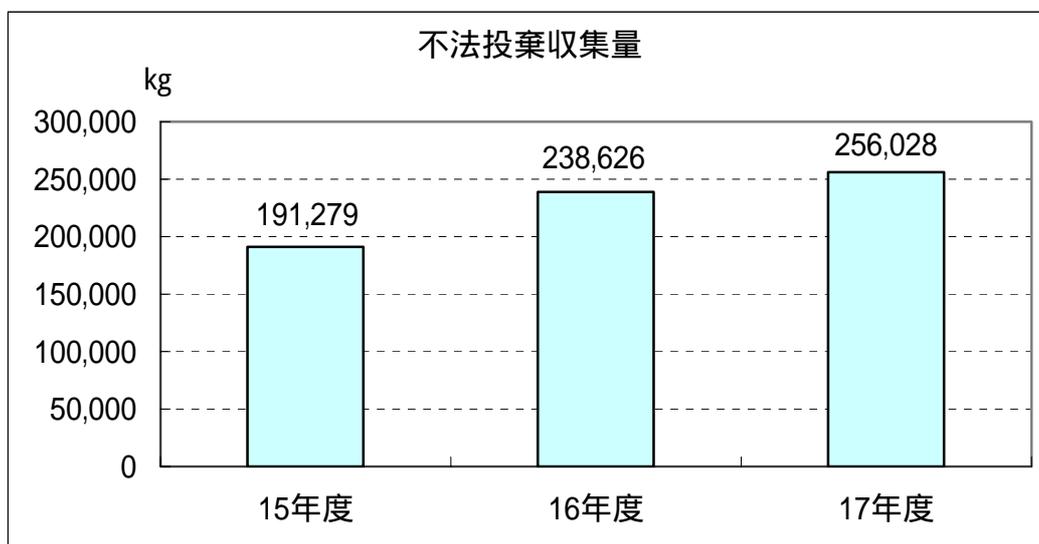
リサイクルマスコット
クルリもイベントに参加



4 . 不法投棄への対応

「不法投棄をしない、させない、許さないまちづくり」を目指して、夜間パトロールに加え山間部などに監視カメラを6台設置しました。今後も設置箇所を増やし、地域の目の届かない場所の監視機能を強化して不法投棄をさせない環境を整備していきます。

また、市内の小学生が描いたポスターを不法投棄多発場所や八王子駅周辺、資源物集積所等に掲示し、子供たちの視点から不法投棄の防止を訴えるなど施策を展開しています。



5 . 新たな課題への取り組み

資源物を含むごみ総量の抑制策として、エコショップ認定制度やマイバッグ持参運動の充実を図る中で、引き続き発生抑制の拡充に取り組みます。

(1) エコショップ認定制度の充実

店舗の発生抑制への取り組みを誘導するため、買い物袋持参運動の推進、エコ商品の販売など、ごみの発生を抑制する取り組みをおこなっている環境にやさしいお店を「八王子市エコショップ」として認定し、ホームページなどを通じ広く皆さんにご案内する制度を実施します。今後も参加店舗を広報等で呼びかけ参加店舗の増加と環境配慮活動の充実を図っていきます。



(2) マイバッグ持参運動の充実

使い捨ての象徴とされるレジ袋の削減に向け、市民からマイバックシンボルマークを募集し、最優秀作品を本市のシンボルマークとして決定しました。

今後、身近な生活の中からできる発生抑制策として、マイバック持参運動を展開していきます。



マイバック持参運動のぼり



中野上町、野村さんデザインの
マイバックシンボルマーク

(3) エコアクション21の普及

中小事業者でも環境への取り組みを効果的・効率的に行えるよう、環境省策定の環境経営システム「エコアクション21」登録・認証制度の普及に向けて支援を行っています。

市支援策である八王子市イニシャティブプログラムの実施により、市内の廃棄物処理業者など24の事業者が「エコアクション21」の認証・登録を目指し、環境経営に取り組んでいます。今後も「エコアクション21」の更なる普及を目指し、支援策の充実を図っていきます。